

## 日本鉄鋼協会記事

会員の皆様、本年も暑い夏を迎えていますがお元気で活躍のことと思います。当協会でも職員一同秋期大会の準備でフルに活動しているところです。

今回は講演件数が 300 を突破し、当協会の講演大会としては創立以来かつてない大規模な講演会となりご同慶の至りであります。この力強い盛り上りを土台にして協会としてはさらに内容を充実してゆく所存であります。

すでにご承知のごとく Overseas を Transactions に改名し、英文誌の内容を一新することにいたしました。多くの会員が Transactions を「鉄と鋼」と同様十分駆使せられ、世界とのつながりを深められることを切望してやみません。

Transactions 強化は財政的にみると協会の大きな負担となりますが、協会を世界の鉄鋼協会たらしめ、また各会員が学会を通じて国際的に活動せられるために必要な措置と考えて断行致した次第です。Transactions を「鉄と鋼」と合せて講読せられる方々の負担を軽くし一人でも多くの会員が Transactions を座右に置かれるように只今鋭意その対策を検討中であり、必ずや皆様のご要望に報い得るものと確信しておりますことをこの機会にお伝え申し上げます。

### 理 事 会

**第 4 回理事会** 開催日：6 月 21 日。出席者：佐野会長  
他 33 名。

#### 会議事項

1. 編集委員会規程制定に関する件。  
荒木委員長報告 前回提出した組織図案を文章にした。企画委員会の庶務分科会で検討することになった。
2. 常務委員 研究委員委嘱に関する件  
研究委員会構成案通り研究担当常務委員および研究委員を委嘱することを決定。  
研究委員はさらに 2 名追加されることになろう。委員会規程については次回研究委員会で委員会のあり方について検討した上で作成すると、今井委員長が説明した。
3. 昭和 41 年度鉄鋼二次製品生産設備の実態調査に対し日本小型自動車振興会補助金交付決定に関する件  
補助金限度額 120 万 (総額 240 万)  
誓約書を提出することを決定。

### 企 画 委 員 会

**第 3 回委員会** 開催日：6 月 17 日。出席者：伊木委員長  
他 23 名。

#### 会議事項

1. 政府の補助金、委託金に関する件。  
政府は委託研究として大型プロジェクトを取り上げた。本年度のテーマは電磁流体(MHD)発電、超高性能電子計算機大型火力発電所排ガスの脱硫の 3 つである。予算規模もかなり大きいので工業技術院の担当官から詳細な説明を聞いた上で鉄鋼として取り上げるべきテーマの計画につき検討することになった。
2. 会員制度の設定および定款施行細則変更に関する件。  
会員を 2 種にわけ、第 1 種会員は「鉄と鋼」と Transactions of I.S.I.J. のいずれかの配布を受け、第 2 種会員は両者の配布を受けることとし、それぞれの会費を定めることとする提案につき協議したが、これには定款および同施行細則の変更を要するので

今秋大会の際臨時総会を開催することとし、それに提出すべき原案につき、次回に検討することになった。

### 研 究 委 員 会

**第 4 回委員会** 開催日：6 月 21 日。出席者：今井委員長  
他 10 名。

#### 会議事項

1. 本委員会の運営方針について  
共同研究会、鉄鋼基礎共同研究会と本委員会との関係を中心に検討されたが、これらについて各理事共研部会長にアンケートを求め、それを基にして次回研究委員会で検討することに決定。
2. 新委員について  
協会事務局案通り承認理事会に具申することに決定。
3. 技術講座について  
(1) 第 6 回技術講座として 10 月 19 日関西で「合金元素選定の考え方」佐藤忠雄氏、「将来の製鉄法」雀部高雄氏を再度行なうことに決定。  
(2) 第 7 回技術講座として 11 月に製錬の熱力学をテーマとすることに決定。
4. 補助金研究事業について  
申請中の鉱工業補助金研究「Nb の研究」「キルド介在物の研究」「クレーンスケールの研究」は各々受理された旨事務局より報告す。

### 編 集 委 員 会

**第 4 回委員会** 開催日：6 月 20、21 日。出席者：荒木委員長  
他 20 名。

#### 会議事項

1. 第 72 回講演大会申込数  
(1) 第 1 種講演… 142 件 (うち採用 140 件、不採用 2 件)  
(2) 第 2 種講演… 144 件 (うち講演取消し 1 件)  
(3) 討論会… 20 件 計 303 件
2. 第 72 回講演大会プログラム編成  
製鉄関係を第 1・2 会場、製鋼関係を第 3・4 会場、加工・性質関係を第 5・6・7 会場にわけそれぞれプログラムを編成した。

第1日(10月16日)

午前: 特別講演 午後: 討論会, 講演会

第2日(10月17日)

午前: 講演会 午後: 討論会, 講演会

第3日(10月18日)

午前: 講演会 午後: 討論会, 講演会

### 資料委員会

第31回委員会 開催日: 6月24日. 出席者: 草川委員長他12名.

会議事項

1. 現在本調査課においては、図書購入費予算の30%前後のみ、図書購入費として利用している段階であるので今後は、繰越し分を含めて協会独特の図書を購入することになった。まず手初めとして、外国雑誌を熟読するため辞書類、11カ国の辞書を備えることになった。
2. 8月号の“資料室だより”には、協会購入の外国雑誌のリストを掲載することにした。
3. 金材研、東工大のリストを資料委員として推薦し、委員長が直接両方面に適当な人に働きかけることになった。
4. Henry Butcher の Translation は、高価だし、Trans, B.I.S.I と重複しているので、次回、再度検討することになった。
5. Battelle Memorial Institute の資料を購入するかどうかは、次回検討することになった。

### 賛助会員逝去

本会賛助会員工学博士金子恭輔氏(大平生物化学工業(株)社長)は6月29日午前4時43分逝去されました。謹んで弔意を表します。

### 共同研究会

#### 圧延理論分科会

第29回分科会 開催日: 6月14, 15日. 出席者: 安藤主査他 38名.

会議事項

1. 高温振り試験関係  
高温振り試験における試験片形状、および試験方法の標準的なものについて担当幹事が作成した案について報告があつた。加熱方法とその測定法、炉の製作法、中性ガスの注入法などにつき問題が提起されたので、関係各社にいろいろ検討していただき、次回討議して今後の方針について決めることとした。
2. 熱間変形抵抗試験関係  
各種鋼材についての共同実験の中間報告があつた。また、主査より実際の圧延におけるパススケジュールと歪速度の調査に関する提案がなされた。
3. 冷間圧延関係  
摩擦係数の測定、テンションレベラーの使用法その他について報告があつた。

### 鋼板部会

#### 分塊分科会

第22回分科会 開催日: 6月3, 4日. 出席者: 鍵山主査他 105名.

会議事項

1. 共通議題“設備合理化と要員配置”について各社提出の資料により活発な討議を行なった。
2. 幹事会社より加熱能力算定式(第3次改訂)試算結果が発表され2次案より精度の向上が確認されたが、別途今秋設備能力委員会にて検討することにした。
3. “鉄と鋼”特集号を発行することにし、第1回編集委員会を7月上旬開催する。
4. 当分科会と熱経済技術部会とは事業の一部が重複するので、熱経済技術部会幹事参加の上打合せし、この分野については今後有機的連携を保ちつつ効果的な共同研究を進めることにした。

### 条鋼部会

#### 線材分科会

第22回分科会 開催日: 5月31日, 6月1日. 出席者: 有沢主査他 44名.

会議事項

1. 品質向上, 能率向上に資する問題提出資料9  
内容は仕上工の成品々質習理体制に関するもの、寸法精度と温度との関係について、太丸圧延のループ改良、パススケジュールの変更、その他2, 3の改造が報告された。
2. 加熱炉について 提出資料9  
9作業所より加熱炉に関する改良、改修についての報告があつた。
3. 歩留向上対策について 提出資料9  
Iの場合と似た資料が出たが、パスラインの変更、ローサルファー重油使用例、ミスロール発生時の作業方法改善、その他成品の長尺化などが報告された。
4. バーインコイルの成品圧延後の疵の分類と対策について 提出資料9  
この問題については内容も面白いので神戸製鋼の方でとりまとめ次回に提出されることになった。
5. その他次回の開催について  
11月末に神戸で開催予定であるが各社よりの提出資料を次のように担当各社にあらかじめまとめてもらつて報告ねがうことにした。  
1) まきとり習理について(吾孺製鋼にてとりまとめ)  
2) クレームの状況とその対策(神戸製鋼 )  
その他は従来通りである。

### 熱経済技術部会

第34回部会 開催日: 6月23, 24日. 出席者: 桑畑副部会長他 54名.

会議事項

1. タイルレキュペレーター劣化防止対策第2次アンケートについて  
住金がアンケート方式を作成した。アンケートの回答期限は8月15日の次回部会(10月豊橋)で報告を行なう。
2. 経済的空気予熱装置に関する研究、論文の報告
3. 工業窯炉の煤煙防止に関する報告
4. 窯炉における重油の品位と問題点について  
日鋼がアンケート回答をまとめた。あわせて石油連盟技術課長藤沼茂氏より供給側の重油事情を聴取した。
5. 試験加熱炉計画について
6. 分塊分科会との共同研究について  
鋼板部会分塊分科会と当部会は重複する分野(例均熱炉については有機的に連携して共同研究を進めることになった。

## 計 測 部 会

**第34回部会** 開催日: 6月6, 7日. 出席者: 桂部会長他 67名.

### 会議事項

1. 共通議題  
オリフィスによる流量測定に関連してダストやドレンの堆積およびエッジの鈍化などの精度におよぼす影響を実験した結果が数通発表された。
2. 自由議題  
焼結原料の水分を連続測定する方式についての基礎実験の成績、高炉の羽口先燃焼温度の2色高温計による測定方法など興味深い報告が多かった。  
2日目午後、島津製作所三条工場を訪れ、分析機器工業計器、バルブの工場を見学した。

## 秤 量 分 科 会

**第21回分科会** 開催日: 6月14, 15日. 出席者: 磯部副部会長他 36名.

### 会議事項

1. 共通議題  
各社の輸入秤量機の使用実績を発表し、国産機との違いを討議した。  
国産品は市場が狭いため大量生産方式がとれずロードセルなど一部の部品で劣っているが、今後仕様のスタンダード化および輸出への努力をすればすぐれた製品ができるという意見が多くでた。
2. 自由議題  
コンベアスケールの簡易検査、製鋼工場におけるクレーンスケールの使用結果などが発表された。

## 標 準 化 委 員 会

### 普 通 鋼 分 科 会

**第11回分科会** 開催日: 6月17日. 出席者: 木山主査他 14名.

### 会議事項

1. 鉄鋼規格調査委員会のアンケート結果検討

一部アンケート数値に対する疑問が出されたが、これらの数値検討ならびにメーカーのアンケート結果に対する考え方を7月4日小委員会(在京幹事会)を開催まとめることに決定。

### 2. ISO/TC17 の draft の賛否検討.

1) 不等辺山形鋼の寸法, 2) 等辺山形鋼の寸法は無条件同意, 3) 構造用鋼はドラフト中のミスプリントを指摘し同意することに決定。

### 3. ISO/TC17/WG8 について

フィラデルフィアで7月11~18日に開催のWG8に川鉄小野友太郎氏の日本代表としての出席を承認。

## 鋼 管 分 科 会

**第7回分科会** 開催日: 6月10日. 出席者: 下川主査他 17名.

### 会議事項

JIS 熱間圧延軟鋼板の規格が制定されるので、これに伴って JIS 炭素鋼帯鋼規格が廃止される。熱間圧延軟鋼板規格でカバーできない鋼習用鋼帯をどうするか審議した結果、工業技術院の指示もあり鋼習用熱間圧延低炭素鋼帯規格原案分科会を発足させることに決定した。

## 国内炭活用製鉄用コークス製造委員会

開催日: 6月13日. 出席者: 久田委員長他18名.

### 会議事項

1. 今後の方針検討  
本研究の目的たる成型法による製鉄用コークス製造の技術について、そのノウハウを確立し、効果を明らかにすることができたので今後の本設備の有効利用に関するアンケートを鉄鋼9社、石炭5社、コークス2社などに行なった。この結果にもとずき、現有試験設備の利用および設備の処理などについて、協会内にあらたに委員会(名称未定)を設置して、審議を行なうという提案について、再度各社にアンケート中である。
2. 会計報告

## 鉄鋼基礎共同研究会

### 非金属介在物部会

**第3回部会** 開催日: 6月24日. 出席者: 荒木部会長他25名.

### 会議事項

1. 第2回部会以降の分科会開催報告  
(1) リムド鋼小委員会 5月31日, 6月18日  
(2) キルド鋼幹事会 5月14日, 6月24日
2. 41年度キルド鋼の研究の溶製計画の検討  
キルド分科会提出溶製計画案について検討を行ない押湯法の再検討が要望された。
3. リムド鋼の研究について  
リムド鋼分科会より主な研究が終了し、現在小委員会でデータを取まとめ検討中であり、一部が発表された。また鋼塊中の介在物分類を検討中の旨報告された。

鉄鋼の照射試験研究合同委員会

第20回委員会 開催日：6月13日。出席者：長谷川委員長他 35名。

会議事項

和和38年度および39年度計画がベルギーでの照射後試験を完了し、国内での照射後試験も順調に継続されている

ることを確認した。またこれらデータの1部の報告がなされた。

昭和40年度計画は照射用試験が7月末までに作成され12月に照射、明年5月に試験が終了することを確認した。また富士製鉄で使用する材料の諸性質につき報告された。

新 入 会 員 氏 名

(昭和41年5月1日~31日)

維持会員		佐久間福太郎 三菱金属鋳業(株)		西村 尚 熊本大学工学部
北日本特殊鋼(株) 2口		桶川		野崎 庸夫 //
正 会 員		井上健次郎 三菱重工業(株)広島	野村 恒久 //	浜田 晋具 //
子安 善郎 富士製鉄(株)室蘭	林田 健 丸茂工業(株)	中川 一郎 日鉄鋳業(株)釜石	平岡 昇 //	藤井 誠二 //
武田鉄治郎 //	中川 満男 (株)不二越研究所	金山 敏己 住友鋼管(株)製鋼	藤永 輝郎 //	藤永 輝郎 //
古崎 宣 //	森岡 敏己 住友鋼管(株)製鋼	中野 矩雄 富士機械製造(株)	本田 義興 //	本田 義興 //
若曾根 肇 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	岩本 茂男 大和製鋼(株)	前村 斉 //	前村 斉 //
青木 至 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	遠藤 淳二 豊田中央研究所	増田 勝彦 //	増田 勝彦 //
橋本 勝邦 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	駒井 聡吉 日本電工(株)富山	松原 徹也 //	松原 徹也 //
半沢 貢 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	岩崎 照栄 (株)富山製錬所	松本 秀昭 //	松本 秀昭 //
村山 直美 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	山浦 宏 (財)野口研究所	宮田 利勝 //	宮田 利勝 //
近藤 幹夫 川崎製鉄(株)技研	中野 矩雄 富士機械製造(株)	寺島 隆彦 東北特殊鋼(株)	村上 忠 //	村上 忠 //
中井 揚一 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	三浦 信之 日本石油化学(株)	村田 文武 //	村田 文武 //
大和 康二 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	青木 誠三郎 日本化学特許和文英訳	吉田 昌義 //	吉田 昌義 //
芹沢 保丈 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	研究会	植田 武臣 //	植田 武臣 //
千貫 昌一 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	安岡 雅弘 久保田鉄工(株)	泉川 敏 早稲田大学理工学部	泉川 敏 早稲田大学理工学部
西山 輝夫 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	佐藤 博 富士機工(株)	山口 達一 //	山口 達一 //
関根 寛 八幡製鉄(株)東研	中野 矩雄 富士機械製造(株)	三森 友彦 東京都立大学工学部	吉田 千里 //	吉田 千里 //
中沢 孝夫 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	渡辺 彬 茨城工業高等専門学校	米沢 利夫 //	米沢 利夫 //
伊藤 秀樹 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	平野 賢一 東北大学工学部	今村 和久 //	今村 和久 //
小菅 俊洋 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	西 茂夫 広島工業大学	竹山 宗芳 //	竹山 宗芳 //
中川 孝 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	学生会員	高島 正和 //	高島 正和 //
高畑 正和 日本鋼管(株)川崎	中野 矩雄 富士機械製造(株)	荒井 俊勝 熊本大学工学部	角 正規 //	角 正規 //
林 宏 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	伊藤 弘人 //	鈴木 健司 //	鈴木 健司 //
道下 勝己 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	岩本 美文 //	新川 要 //	新川 要 //
山口 憲一 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	小山田 正 //	清水 克久 //	清水 克久 //
佐藤 元宏 (株)日立製作所	中野 矩雄 富士機械製造(株)	岡田 俊彦 //	酒井 潤一 //	酒井 潤一 //
田口 元吉 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	金長 正明 //	国分 秀隆 //	国分 秀隆 //
渡辺 康雄 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	木村 幹男 //	河野 通 //	河野 通 //
藤井 謙一 (株)神戸製鋼所	中野 矩雄 富士機械製造(株)	佐々木 忍 //	木原 重光 //	木原 重光 //
宮本 一郎 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	佐藤 直之 //	私市 優 //	私市 優 //
西村 広太郎 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	榎原 聖明 //	持田 繁 //	持田 繁 //
佐原 勝仁 大同製鋼(株)	中野 矩雄 富士機械製造(株)	末永 洋一 //	正宗 直樹 //	正宗 直樹 //
吉田 鎮雄 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	園田 宏 //	細田 清彦 //	細田 清彦 //
緒方 俊治 住友金属工業(株)小倉	中野 矩雄 富士機械製造(株)	竹井 一步 //	堀 光隆 //	堀 光隆 //
後藤 勝弥 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	嶽道 泰成 //	星原 睿 //	星原 睿 //
浅見 栄三 日本ウジミナス(株)	中野 矩雄 富士機械製造(株)	寺本 勝四郎 //	別宮 宣克 //	別宮 宣克 //
佐藤 利三郎 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	中尾 健一郎 //	古内 庸三 //	古内 庸三 //
井上 博之 三栄鉄工(株)	中野 矩雄 富士機械製造(株)	中島 建夫 //	平野 治彦 //	平野 治彦 //
北島 京 //	中野 矩雄 富士機械製造(株)	中村 俊明 //	平野 昇 //	平野 昇 //
山口 剛士 大阪製鋼(株)	中野 矩雄 富士機械製造(株)	中本 康夫 //	蛭川 貞美 //	蛭川 貞美 //
松岡 滋樹 特殊製鋼(株)研究所	中野 矩雄 富士機械製造(株)			
小林 弘昌 三菱製鋼(株)東京	中野 矩雄 富士機械製造(株)			

寺岡 信宏	早稲田大学理工学部	佐藤 駿	北海道大学工学部	仙崎 武治	北海道大学工学部
谷津 尚	〃	島田 征典	〃	細井 信彦	〃
木川 武彦	早稲田大学大学院	高木 孝一	〃	坂本 達事	名古屋工業大学大学院
梅原誠一郎	北海道大学工学部	塚原 戴司	〃	平野喜久雄	〃
植野 忠邦	〃	高橋 裕也	〃	宮 信昭	千葉工業大学工学部
市川 洵	〃	永田 卓雄	〃	山田 健一	〃
池田 耕一	〃	福地 正明	〃	嶺 浩紀	東北大学工学部
浅賀 英治	〃	藤本 邦捷	〃	水原 毅	愛媛大学工学部
太田 正治	〃	堀越 政治	〃	外 国 会 員	
岡 隆次郎	〃	前川 義勝	〃	Dave Chafe	(U.S.A.)
片山 昭彦	〃	松本 秀春	〃	Charles E. McCoy	(U.S.A.)
今野 乃光	〃	山岡洋次郎	〃	John V. Russell	(U.S.A.)
佐藤 勝美	〃	山添 康治	〃		

### 金属関係学協会東北支部連合 第4回 研究発表会

日本鉄鋼協会, 日本金属学会, 日本鋳物協会, 日本鋁業会, 溶接学会の各東北支部が連合して下記のように研究発表会を開催します。多数ご参加下さい。

1. 日 時 9月9日(金) 9:00~17:00 研究発表会  
9月10日(土) 10:00~12:00  
見学会 (株)本山製作所(仙台市北仙台駅前)
2. 会 場 東北大学工学部金属材料工学科  
(仙台市南六軒丁)
3. 研究発表申込要領  
講演希望学協会支部名, 講演題目, 講演者名を記して7月10日までに申込むこと。申込者には当方より
4. 参加申込要領  
原稿用紙を送り規定様式により講演概要を執筆し8月10日までに返送していただきます。  
氏名, 連絡先, 勤務先, 所属学会, 講演概要集の必要部数(1部300円の予定), 見学会の出, 欠を記入して8月10日までに申込むこと。
5. 申込先 仙台市桜小路 東北大学工学部金属加工学科内 日本鋳物協会東北支部